

新しい「野洲市民病院」 ニュース Vol.1

令和 8(2026)年 11 月の竣工に向けて
工事の進捗状況などをお知らせします！



令和 6 年 8 月 1 日
＜お問合せ先＞
野洲病院新病院整備課
小篠原 1094 番地
077-587-6141

新病院の基本設計が完了し、現在は実施設計を進めています！

総合体育館の屋外階段の付替えなどの準備工事を開始しました！



◆◆ 準備工事が始まりました！ ◆◆

7 月より、野洲市総合体育館の屋外階段の新設・撤去等の準備工事を開始しました。並行して川側の擁壁を設置する工事をしています。

工事期間中、体育館ご利用者様や周辺の方々にご不便・ご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。



屋外階段周辺の様子



市道側から見た整備予定地（正面）



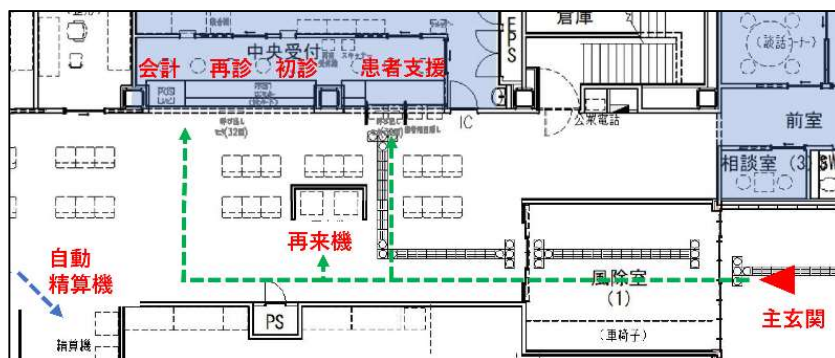
擁壁設置工事が進んでいます

◆◆ 新病院の設計内容をご紹介します！（その1） ◆◆

新病院の内部を、基本設計に基づいてご紹介します！

初回となる今回は、1 階の「**エントランス・ストリート**」です。

図面右下にある主玄関から入り、風除室を抜けると、右手に見えるのが**中央受付**です。新病院



の**中央受付**は、「**患者支援カウンター**」・「**初診**」・「**再診**」・「**会計受付**」を集約し、ワンストップで対応できる造りとなっています。

また、「**再来受付機**」「**自動精算機**」も、それぞれ分かりやすい場所に配置します。

＜裏面もあります＞



◆◆新規採用職員(看護部 5 名、医療技術部 9 名、事務部 6 名)を迎えました！◆◆

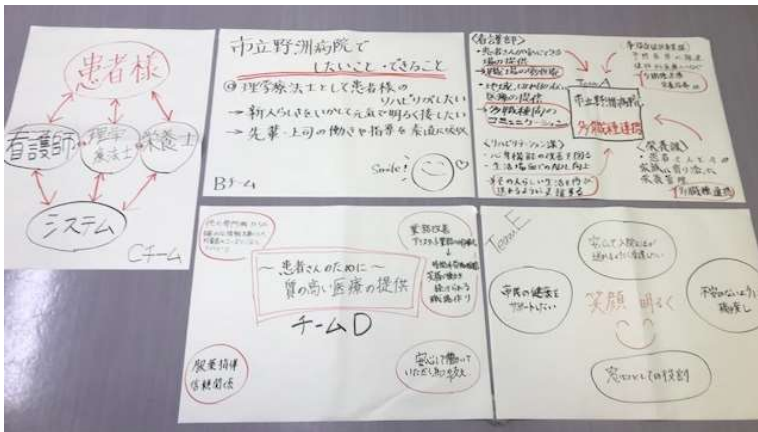
令和6年4月に 5 日間の日程で、「多職種連携教育研修」を実施しました。この研修では、多職種間の連携を図るため、専門性の異なる職種により構成されるグループにて討論などを行い、職種を越えた人間関係の構築や仲間意識の育成を行いました。

参加者からは「多職種連携を意識した具体的な仕事が想像できた」「何となく理解していた多職種連携だったが、研修を通じてその大切さを



十分に学べたし、チームの一員としてどのような連携が必要なのかを深く考えることができ、大きな学びとなった」、また、同時に行ったグループ別の院内ウォークラリーでは「部署の雰囲気など体感することができ、実業務に活かせると感じた」などの感想が寄せられました。

新規採用職員も入職して早や5カ月、日々それぞれの職場で積極的に自己研鑽し成長する姿に頼もしさを感じます。



◆◆ 当面のスケジュールについて ◆◆

R6.8月	擁壁設置工事 屋外階段工事（杭）
9月	擁壁設置工事 屋外階段工事（基礎）
10月	屋外階段新設工事 公共下水道移設工事
R7.3月	本体工事を起工・着手

7月は既存の外構を撤去する作業が中心でした。

8月からは、いよいよ本格的な工事が始まります。



◆◆ 歴史の井戸辺 ～医事にまつわる野洲の歴史散策～ 第1回 ◆◆



(上) 伝・永原御殿の書院
(草津市芦浦観音寺内)

(右) 是斎屋跡地の碑
(大阪府天下茶屋公園)



「^{わちゅうさん}和中散」とは、現・栗東市にて製造・販売された薬である。やがては大坂（現・天下茶屋公園にあった^{せさいや}是斎屋）でも販売されるなど、江戸時代にベストセラーとなった。一見すると、野洲とは何の関りもないように思える。

一説では、「和中散」の名付け親は徳川家康だとされる。1611 年、見舞われた腹痛を和らげた薬の効能に感心し、「和中散」と命名したという。この「和中散」との名が付けられた、家康が腹痛を催した舞台として、現・野洲市に所在した永原御殿が関わっていたのである。